

AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

看護研究集録(2015.12) 平成26年度:68-69.

人工膝関節置換術後の患者の体重コントロールに関する認識

外山 あつみ、森部 里紗

人工膝関節置換術後の患者の体重コントロールに関する認識

旭川医科大学病院 8階西ナーステーション○外山 あつみ、森部 里紗

キーワード：人工膝関節置換術後、体重コントロール、認識

I. 目的

体重コントロールに関し、内科疾患についての先行研究は多いが、整形外科手術、特に人工膝関節置換術（以下TKAとする）についての先行研究は少ない。TKA患者の体重コントロールの認識を明らかにし、影響を与える要因について検討する。

II. 研究方法

1. 対象者：A病棟でTKA施行後6カ月以上経過、食事制限がない、BMI26以上の50～70歳代の女性3名。
2. 研究期間：2013年6月～11月。
3. 方法：外来受診または再入院時に半構造的面談を実施。インタビューガイドはAjzenの計画的行動理論を基に体重コントロールに対する思い、食事の傾向、他者からのサポート、運動習慣、生活習慣で構成した。その後、逐語録を作成、カテゴリー化し分析した。

III. 倫理的配慮

対象者に、目的、方法、参加の任意性や個人情報保護について説明し同意を得た。また、A病院倫理委員会の承認を得た。

IV. 結果

分析の結果、6カテゴリー、12サブカテゴリーが抽出された。【健康維持のための体重コントロールの必要性は理解している】では、対象者は理想の体型があり「自己の体型を気にしている」ため、痩せたい気持ちがあった。また、家族のために健康でありたい、内科疾患悪化を防止したいという思いから、「健康維持に対して関心を持っている」「体重増加による膝以外の疾患の悪化を危惧している」「体重増加と膝への負担の関係性を理解している」ことに繋がった。【体重増加が膝へ負担となることに確信を持っていない】では、どの程度の「体重増加が膝への負担となるのか確信を持っていない」現状であった。

【周囲からの心配】では、家族も減量したほうがよいと考えており、「周囲から痩せるように言われる」と表出していた。【体重コントロールのために努力している】では、食事、間食、運動が体重変化に関係することを認識

し、自己でできる方法を見出し、「食事の工夫」「維持している運動」があった。【減量の成功による喜びと嬉しさ】では、減量体験から疼痛軽減の実感、周囲からの称賛、減量に伴う体型の変化が「減量をできた喜び」へと繋がった。【体重コントロールに対する困難感】では、「疼痛による活動の制限」「栄養管理に対する困難感」「減量の失敗経験」から困難を感じていた。

IV. 考察

Ajzenの計画的行動理論は、ある行動が起きるためには、近い将来にその行動をしようと思う「行動意思」が必要であり、影響する要素として、行動への態度、主観的規範、行動コントロール感が挙げられている。¹⁾行動への態度では、対象者は、体重コントロールの必要性を認識し実践していきたいという意欲を持っていたが、実際に体重増加が膝へ及ぼす影響について実感しにくい状況であり、膝への負担軽減以上に健康維持や内科疾患に対する体重コントロールについて重要性を感じていたと考える。行動への態度は、行動に対してポジティブな気持ちを持つことであり、その結果に対して本人が強い価値を置くことが重要である。対象者は体重コントロールの認識はあったが、ポジティブな気持ちだけでは予測し難く、行動には至らなかったと考える。主観的規範では、家族や医師から減量の勧めは、対象者への意識付けに繋がっていたと考える。行動コントロール感では、対象者が食事や運動について自己でできる方法を見出し、減量の成功体験が促進要因となっていた。一方で、痛みによる活動の制限、生活習慣の変更の難しさ、体重減量の失敗経験から意欲低下に繋がり、阻害要因となっていた。

V. 結論

1. 体重コントロールに対する認識として6カテゴリー、12サブカテゴリーが抽出された。
2. 対象者は体重コントロールの必要性は理解していたが、膝への影響以上に健康維持や内科疾患の憎悪防止に対しての重要性を感じていた。
3. 体重コントロールのために自己で工夫し継続出来てい

る事や減量の成功体験の促進要因がある一方で、減量の失敗、疼痛、栄養管理の難しさが体重コントロールに対する困難感となり、阻害要因となっていた。

VI. 参考文献

1) 松本千明：医療・保険スタッフのための健康行動理論の基礎生活習慣病を中心に（第1版第9刷），医歯薬出版株式会社, P. 37-39, 2009年1月20日